

## 応用編

### 1 現金・預金取引 (p.114)

#### 1 現金・預金取引 (p.114)

##### ■自己振出しの小切手の受入れ

- ・ 自社が振り出した小切手を \_\_\_\_\_ の小切手という。
- ・ 自己振出しの小切手を自社が受け取ったときは \_\_\_\_\_ の増加となる。

※ 小切手を振り出した (借) ○ ○ ○ ×× (貸) 当座預金 ××  
その小切手を受け取った (借) 当座預金 ×× (貸) ○ ○ ○ ××

#### 仕 訳

- ・ 他人振出しの小切手を受け取った。

(借) ×× (貸) ○ ○ ○ ××

- ・ 自己振出しの小切手を受け取った。

(借) ×× (貸) ○ ○ ○ ××

#### 例題 1

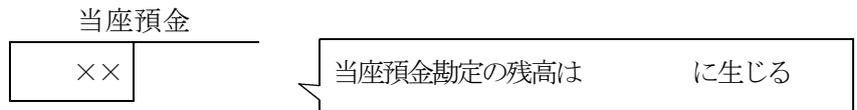
6/15 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

22 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

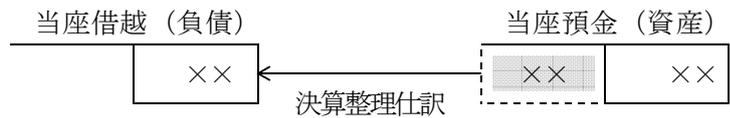
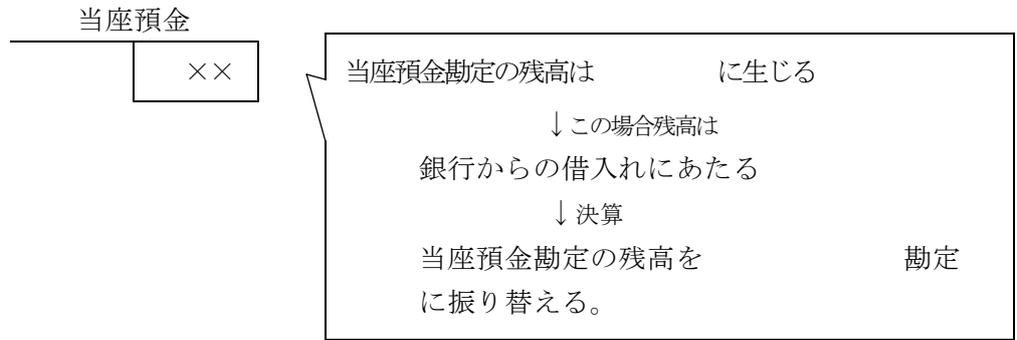
##### ■当座借越

- ・ 銀行と当座借越契約を結べば、当座預金の残高 (例えば¥100) 以上の小切手 (例えば ¥120) を振り出しても、 \_\_\_\_\_ にならない (銀行は小切手の支払いに応じる)。
- ・ 当座預金の残高がゼロになってからの小切手の振出しを \_\_\_\_\_ という。
- ・ 当座借越になると、当座預金勘定の残高は \_\_\_\_\_ に生じる。
- ・ 当座借越は銀行からの一時的な借入れにあたるので、決算において、当座預金の残高が貸方に生じているときは、その残高を \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) に振り替える。

当座借越がない状態



当座借越がある状態



**仕訳**

・決算日に当座預金勘定の残高が貸方に生じた。

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----

【NOTE】

例題 2

(1)	3/31 (借)		(貸)
(2)	6/15 (借)		(貸)
	18 (借)		(貸)
	25 (借)		(貸)

当座預金出納帳

01年	摘要	預入	引出	借 または 貸	残高
6	1 前月繰越	120,000		借	120,000

2 その他の銀行預金 (p.116)

- ・ \_\_\_\_\_ の金融機関に預金口座を持っている場合、 \_\_\_\_\_ に銀行名などを付けることがある。

(例) 当座預金〇〇銀行

例題 3

(借)		(貸)





#### 4 手形取引 (p.120)

##### 1 電子記録債権・電子記録債務 (p.120)

- 電子記録債権・電子記録債務は、債権（債務）や債権（債務）をしたものである。
- 債務者が買掛金について、電子債権記録機関にをしたときは、買掛金勘定から勘定（の勘定）に振り替える。
- 一方、をうけた債権者は、売掛金勘定から勘定（の勘定）に振り替える。
- 債権者が売掛金について、債務者の承諾を得て、電子記録債権の発生記録の請求をしたときは、売掛金勘定から勘定に振り替える。
- 一方、をうけた債務者は、買掛金勘定から勘定に振り替える。

##### 仕訳

- 買掛金について電子記録債務の発生記録を請求した。  

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----
- 電子記録債務の支払期限が到来し当座預金で決済した。  

(借)	××	(貸)	当座預金 ××
-----	----	-----	---------
- 売掛金について電子記録債権の発生記録を請求した。  

(借)	××	(貸)	××
-----	----	-----	----
- 電子記録債務の支払期限が到来し当座預金口座に振り込まれた。  

(借)	当座預金 ××	(貸)	××
-----	---------	-----	----

##### 例題 1

- |     |      |     |  |     |
|-----|------|-----|--|-----|
| (1) | 西尾商事 | (借) |  | (貸) |
|     | 岡崎商事 | (借) |  | (貸) |
|     |      |     |  |     |
| (2) | 豊橋商事 | (借) |  | (貸) |
|     | 蒲郡商事 | (借) |  | (貸) |
|     |      |     |  |     |
| (3) | 西尾商事 | (借) |  | (貸) |
|     | 岡崎商事 | (借) |  | (貸) |
|     |      |     |  |     |

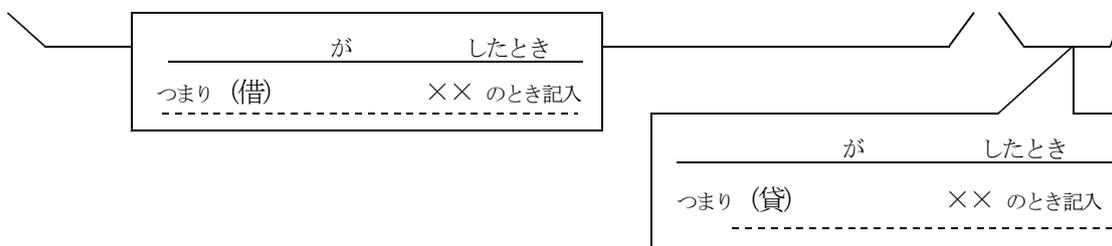
2 受取手形記入帳・支払手形記入帳 (p.122)

- の増加・減少についての明細を記録するための帳簿を受取手形記入帳  
 である。勘定の補助簿である。
- の増加・減少についての明細を記録するための帳簿を支払手形記入帳  
 である。勘定の補助簿である。

[坂戸支店]

受取手形記入帳

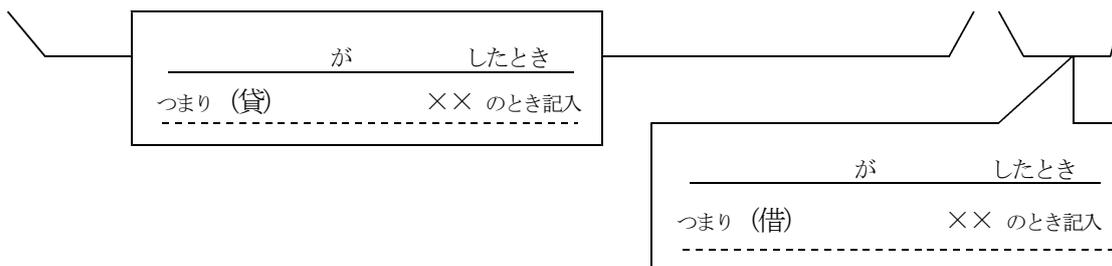
01年	摘要	金額	手形種類	手形番号	支払人	振出人 または 裏書人	振出日		支払 期日		支払場所	てん末		
							月	日	月	日		摘要		
5	1 売上げ	100,000	約手	3	川越商事	川越商事	5	1	8	1	国際銀行川越支店	8	1	受取り



[川越商事]

支払手形記入帳

01年	摘要	金額	手形種類	手形番号	受取人	振出人	振出日		支払 期日		支払場所	てん末		
							月	日	月	日		摘要		
5	1 仕入れ	100,000	約手	3	坂戸商店	当社	5	1	8	1	国際銀行川越支店	8	1	支払い



例題 5

〔仕訳〕

9/5 (借) (貸)

9 (借) (貸)

11/5 (借) (貸)

〔記帳〕

受取手形記入帳

01年	摘要	金額	手形種類	手形番号	支払人	振出人 または 裏書人	振出日	支払 期日	支払場所	てん末		
										月	日	摘要

※企業の帳簿組織は次のとおりである。



## 5 その他の債権・債務の取引 (p.124)

### 1 役員貸付金・役員借入金 (p.124)

- ・企業が役員に金銭を貸し付けたときは 勘定 ( の勘定)、  
-----  
役員から金銭を借り入れたときは 勘定 ( の勘定) で処理  
-----  
する。  
-----

#### 例題 1

(借) (貸)

-----

### 2 法定福利費 (p.124)

- ・社会保険料については、企業もその一部を従業員のために負担する。企業が  
-----  
のために負担する は 勘定 ( の勘定) の  
-----  
借方に記入する。  
-----

※企業が従業員に給料を支払うとき、所得税とともに社会保険料を預かり、  
残額を現金等で支払うことはすでに学習した。

ここでの所得税や社会保険料はいずれも従業員が負担すべきものである。

(借) 給料	××	(貸) 所得税預り金	××	← 従業員負担分
		社会保険料預り金	××	← //
		現金など	××	

#### 仕 訳

- ・社会保険料の従業員負担額および会社負担額を納付した。

(借) ×× (貸) ○ ○ ○ ××

××

#### 例題 2

7/30 (借) (貸)

-----

8/7 (借) (貸)

-----



**5** 差入保証金 (p.126)

・ 営業用の建物や駐車場などの不動産の賃貸借契約を結ぶにあたり、を支払  
-----  
ったときは 勘定 ( の勘定) で処理する。  
-----

※ 敷金は契約終了時には原則として全額が返却されるので資産として扱う。

※ 礼金は支払家賃勘定、仲介手数料は支払手数料勘定で処理する。

**仕 訳**

・ 建物の賃貸借契約を結び敷金を支払った。

(借) ×× (貸) ○ ○ ○ ××

**例題 5**

(借) (貸)

**【NOTE】**

## 6 株式会社の税金 (p.127)

### 1 法人税、住民税、事業税 (p.127)

- ・ 株式会社が支払う税金には、費用として処理できる税金や消費税の他に、利益に対して課税される \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_、 \_\_\_\_\_ がある。
- ・ 法人税、住民税、事業税はまとめて \_\_\_\_\_ といい、法人税等の会計処理は、  
① \_\_\_\_\_ 時、② \_\_\_\_\_ 時、③ \_\_\_\_\_ 時に行われる。
- ・ 中間納付したときは \_\_\_\_\_ 勘定（ \_\_\_\_\_ の勘定）の借方に記入する。
- ・ 決算において法人税等の金額が確定したとき、 \_\_\_\_\_ 勘定（ \_\_\_\_\_ の勘定）借方に記入するとともに、すでに支払った仮払法人税等を差し引き、不足額を \_\_\_\_\_ 勘定（ \_\_\_\_\_ の勘定）の貸方に記入する。
- ・ 確定申告で未払分を納付したとき、未払法人税等勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。

#### 仕 訳

・ 中間申告時	(借)	××	(貸)	○	○	○	××
・ 決算時	(借)	××	(貸)				××
							××
・ 確定申告時	(借)	××	(貸)	○	○	○	××

#### 例題 1

01.11/28	(借)		(貸)
02.3/31	(借)		(貸)
02.5/30	(借)		(貸)

**2** 決算時における消費税勘定の処理 (p.128)

- 仮払消費税、仮受消費税は決算において相殺し、差額を 勘定 ( ) の勘定) に振り替えるとともに、確定申告時に未払分を納付する。

仕 訳			
・決算時			
(借)	××	(貸)	××
			××
・確定申告時			
(借)	××	(貸)	現金など ××

**例題 2**

3/31 (借) (貸)

5/30 (借) (貸)

**【NOTE】**



## 8 伝票 (p.131)

### 1 振替伝票 (p.131)

- 振替取引には、現金収支をまったく含まない と、一部現金

収支を含む とがある。

- 一部振替取引を起票するときには、2つの起票の方法がある。

① 取引と 取引に分けて起票する方法

② いったん全額を として起票し、その後入金取引または出金取引が

あったとみなして起票する方法

#### 例題 1

取引の仕訳 (借) (貸)

↓ 次のように分解する

「いったん全額を掛け売り上げとして処理する」

(借) (貸) → 伝票

「入金取引があったとみなす」

(借) (貸) → 伝票

<u>振替伝票</u>		No.
年	月	日
( )	( )	
小樽商店		

<u>入金伝票</u>		No.
年	月	日
( )		
小樽商店		

#### 例題 2

※ 「現金取引と振替取引に分けて起票する方法」は単純に取引を2つに分解する。

(借) (貸) → 伝票

(借) (貸) → 伝票

<u>振替伝票</u>		No.
年	月	日
( )	( )	
小樽商店		

<u>入金伝票</u>		No.
年	月	日
( )		

例題3

(1)

振替伝票		
年	月	日
(            )	(            )	

(2)

振替伝票		
年	月	日
(            )	(            )	

2 伝票の集計と転記 (p.134)

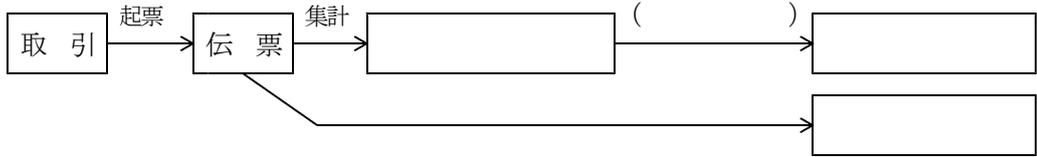
・取引量が多い場合、一定期間の伝票を \_\_\_\_\_ に集計し、そこから勘定科目ごとに、その合計額を総勘定元帳に転記する。これを \_\_\_\_\_ という。なお、各補助簿については各伝票から記入する。

・伝票と転記

【取引量が少ない】



【取引量が多い】



■仕訳集計表の作成手順

- ① 入金伝票の金額を合計し、合計額を仕訳集計表の \_\_\_\_\_ 勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。
- ② 出金伝票の金額を合計し、合計額を仕訳集計表の \_\_\_\_\_ 勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。
- ③ 出金伝票の科目と \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ 側を、勘定科目ごとに集計し、合計額を仕訳集計表の該当する勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。
- ④ 入金伝票の科目と \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ 側を、勘定科目ごとに集計し、合計額を仕訳集計表の該当する勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。
- ⑤ 仕訳集計表を \_\_\_\_\_ 。



**2** 貸倒引当金戻入勘定、償却債権取立益勘定 (p.137)

- ・決算日において、貸倒見積額よりも貸倒引当金の残高が多い場合は、その超過額を  
-----  
貸倒引当金勘定から 勘定 ( の勘定) へ振り替える。  
-----
- ・ までに貸倒れとして処理した売掛金が になってその一部または全  
-----  
額が回収されたときは、 勘定 ( の勘定) で処理する。  
-----

**仕 訳**

- ・貸倒引当金を設定した (貸倒引当金見積額¥100、貸倒引当金残高¥120)。  
(借) (貸)
- ・前期に貸倒れ処理した売掛金¥100 を当期に現金で回収した。  
(借) (貸)

**例題 2**

- (1) (借) (貸)
- 
- (2) (借) (貸)
- 

**【NOTE】**

**3** 減価償却の記帳方法－間接法 (p.138)

- ・減価償却の記帳方法には直接法と \_\_\_\_\_ がある。
- ・間接法は、減価償却費勘定の借方に記入するとともに、 \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ 勘定) の貸方に記入する方法である。
- ・固定資産の取得原価から減価償却累計額を差し引いた額が、その固定資産の \_\_\_\_\_ である。

**仕 訳**

・減価償却を間接法で行った (建物)。

(借) \_\_\_\_\_ ×× (貸) \_\_\_\_\_ ××

**例題 3**

(借) \_\_\_\_\_ (貸) \_\_\_\_\_

**4** 減価償却費の月割計上 (p.138)

- ・期首に減価償却費の \_\_\_\_\_ を計算し、その \_\_\_\_\_ を毎月末に計上する方法がある。
- ・減価償却費の年間見積額と本来計上するべき減価償却費に差異が生じたときは、 \_\_\_\_\_ において \_\_\_\_\_ の調整を行う。

**5** 有形固定資産の売却 (p.139)

- ・例えば、備品が不用になり途中で売却したときは、売却する \_\_\_\_\_ 勘定と \_\_\_\_\_ 勘定の帳簿残高をゼロにするため、備品勘定の \_\_\_\_\_ と、備品減価償却累計額勘定の \_\_\_\_\_ にそれぞれの残高を記入する。
- ・売却による \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ との差額は \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) または \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) で処理する。

**仕 訳**

・固定資産を売却した。(備品：取得原価 ¥100、減価償却累計額 ¥70)

**【売却額 ¥40】**

(借) (貸)  
未 収 金 な ど

**【売却額 ¥20】**

(借) (貸)  
未 収 金 な ど

※ 固定資産売却益および固定資産売却損は差額で求めてもよい。

**例題 4**

(借) (貸)

**例題 5**

(借) (貸)

**【NOTE】**







**8** その他の決算整理事項 (p.146)

(1) 当座預金勘定の整理 (p.146)

- ・決算において当座預金勘定の残高が \_\_\_\_\_ にあるときは、その残高を \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定 ) に振り替える。

**例題 1 2**

(借) \_\_\_\_\_ (貸)

(2) 通信費・租税公課勘定の整理 (p.146)

- ・郵便切手を購入したときは \_\_\_\_\_ 勘定、収入印紙を購入したときは \_\_\_\_\_ 勘定で処理する。
- ・しかし、決算において、 \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ に未使用高が生じたときは、記帳しているそれぞれの勘定から \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) に振り替える。
- ・次期の最初の日付で、再振替する。

<b>仕 訳</b>			
・郵便切手、収入印紙の未使用高を計上した。			
【決算時】	(借)	(貸)	××
			××
【翌期首】	(借)	××	(貸) ××
		××	

**例題 1 3**

01.5/11 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

---

02.3/31 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

---

02.4/ 1 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

---

(3) 未払消費税と法人税等の計上 (p.147)

- ・決算において、仮払消費税勘定と仮受消費税勘定を相殺し、額を  
-----  
計上するとともに、納付する法人税等を計上する。  
-----

例題 1 4

- |       |     |     |
|-------|-----|-----|
| (1)   | (借) | (貸) |
| ----- |     |     |
| (2)   | (借) | (貸) |
| ----- |     |     |
| (3)   | (借) | (貸) |
| ----- |     |     |
| (4)   | (借) | (貸) |
| ----- |     |     |

【NOTE】

■ 決算整理後残高試算表

- ・ 決算整理後の勘定残高を一覧で確認するとともに、貸借対照表や損益計算書を作成する目的で \_\_\_\_\_ を作成することがある。
- ・ 決算整理後残高試算表における、繰越商品勘定は \_\_\_\_\_ をあらわし、仕入勘定は \_\_\_\_\_ をあらわす。

例題 15

決算整理仕訳

1. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

2. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

(借) \_\_\_\_\_ (貸)

3. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

4. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

5. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

6. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

7. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

8. (借) \_\_\_\_\_ (貸)

決算整理後残高試算表

02年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	売 掛 金	
	繰 越 商 品	
	備 品	
	買 掛 金	
	借 入 金	
	貸 倒 引 当 金	
	備品減価償却累計額	
	資 本 金	
	繰越利益剰余金	
	売 上	
	受 取 手 数 料	
	仕 入	
	給 料	
	支 払 家 賃	
	租 税 公 課	
	雑 費	
	雑 益	
	貸倒引当金繰入	
	減 価 償 却 費	
	前 払 家 賃	
	支 払 利 息	
	未 払 利 息	
	貯 蔵 品	
	法人税、住民税及び事業税	
	未 払 法 人 税 等	